

一般社団法人 日本型枠業協会 四国支部

■ 助成対象区分

第16回若手技能者の採用や育成に関する助成B

■ 活動テーマ

出前授業を通じ、ものづくりの楽しさや、感謝する気持ちを実感してもらいたい。型枠大工という職種を知ってもらいたい。

■ 活動期間 2024年6月～2025年1月

■ 発表日 2026年2月10日

団体概要



■ 設立

- ・1975年設立（昭和50年）
- ・型枠工事業の全国組織として発足

■ 目的

型枠工事業者の経済的地位の向上と、施工技術の改善・向上を図り、業界の健全な発展に寄与すること

■ 主な活動

- ・技術・技能者育成、安全対策
- ・労務管理・福利厚生支援
- ・調査研究、機関誌発行、技能検定協力



活動の背景



- 建設業、とりわけ型枠工事は、仕事内容が高校生に伝わりにくい職種であり、現場を実際に見る・体験する機会が限られている
- 進路選択の段階で、仕事の具体像が分からないまま選択肢から外れてしまうケースも多い



活動の目的



- 高校生に型枠工事の役割や仕事の流れを、
実体験を通して理解してもらう
- 現場で求められる技術や考え方を知り、
建設業への関心を高める
- 技能検定の内容を取り入れ、
仕事と資格がつながっていることを実感してもらう
- 将来の進路選択において、
型枠工事を現実的な選択肢として考えてもらう



活動内容①出前授業・実技体験



建設業の人材確保に「型枠職人」が高校で出前授業 愛媛・西条市

日本型枠工事協四国 松山工業高校で出前講座

四国 9/22 09:20

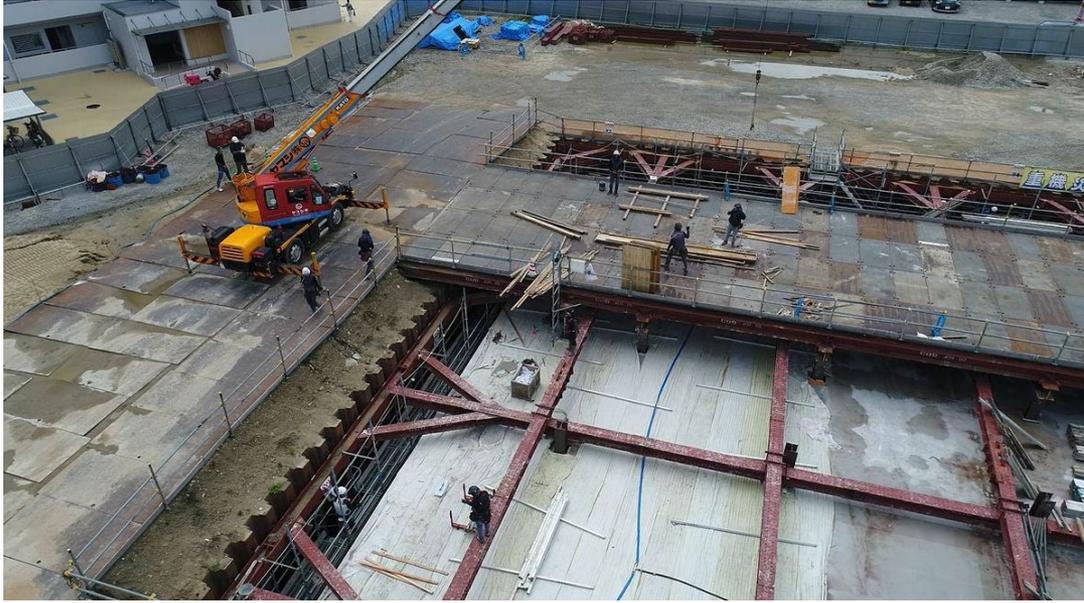
[スクラップブックへ保存](#)

[印刷](#)



松山工業高校で行われた日本型枠工事協会四国支部による出前講座の様子

活動内容②技能検定・教材の工夫



助成金の使途

本事業においては、主に**高校で実施した出前授業の実技体験に必要な費用**として助成金を活用。

- ・型枠組立体験に使用する**木材・型枠材等の材料費**
- ・釘打ち体験等に使用する**消耗品費（釘・資材等）**
- ・授業で使用する**教材準備費（実技用備品）**
- ・出前授業実施に伴う**運営関連費**

助成金を活用することで、
高校生が**実際の現場に近い環境で体験できる授業内容**を実現

生徒アンケートから見えた成果

2・型枠工事の仕事を将来やってみようと思いましたが？

はい

いいえ

3・型枠工事の3級技能士 検定試験を受けてみたいと思いましたが？

はい

いいえ

4・型枠工事の授業を受けての学んだ事・今後取り入れて貰いたい事など ありましたら記入をお願いいたします。

型枠工事の授業を受けて、受ける前までは、授業で手順などや、写真を見たりしていたけれど少ししか知らず、イメージをすることが難しかったけれど、実際に体験してみて、型枠の作り方や、担っている仕事について、また楽しさを知ることができました。将来 就職する際の選択肢が増えました。ありがとうございました。

2・型枠工事の仕事を将来やってみようと思いましたが？

はい

いいえ

3・型枠工事の3級技能士 検定試験を受けてみたいと思いましたが？

はい

いいえ

4・型枠工事の授業を受けての学んだ事・今後取り入れて貰いたい事など ありましたら記入をお願いいたします。

今までは型枠工事について知らなかったが、今日の出勤授業で型枠工事の楽しさをしっかり学べたので良かった。実際に体験して、大変なこともたくさんあったが、とてもやりがいのある仕事だと感じました。まだはやりと将来について決めたいので今回学んだことも生かして行けたらいいと思います。本当にありがとうございました。

▶ 体験を通じて、
職業への理解と心理的な距離が縮まったことがうかがえる。

型枠工事を将来の職業として選んだ生徒が実際に生まれた。

生徒のコメント（一部抜粋）

出前授業や技能検定を通して、**型枠大工**という職種を初めて知る。建物の基礎から屋上まで関わり、**形を想像しながら外枠を作っていく工程に魅力を感じた**。技能検定3級に近い内容で、**仲間と協力して柱や梁を組み立てる体験が印象に残った**。

授業後は友人同士で、**コンクリートの仕上がりや技術の違いについて話題に**。授業をきっかけに、**友人と「技能検定を受けてみよう」と話し合うまでに関心が高まった**。

【成果】

型枠工事を「知らない仕事」から
「興味を持ち、目指したい仕事」へと認識が変化
進路意識や資格取得への具体的な行動意欲につながった

活動成果・効果



・「将来の進路の選択肢の一つになった」との回答があり、
型枠工事を現実的な職業として捉える変化が見られた。

・技能検定について、
「次の級を受けてみたい」「興味が湧いた」との声があり、
技能向上・資格取得への意欲喚起につながった

・現場のリアルを伝える授業内容により、
建設業の人材確保・育成という社会的課題への貢献が期待できる

